



赤磐

令和4年3月議会 第69号

市議会だより



スマートフォンでも
議会中継が見えます

右のQRコードをスマートフォン等で読み取るとページにアクセスできます。



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

2月臨時会のあらまし	2P
3月定例会のあらまし	3P
委員会のうごき	6P
16人の議員が一般質問	11P

市議会の会議録、市議会だよりがインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <https://www.city.akaiwa.lg.jp/shisei/gikai/index.html>

赤磐市議会

検索

令和3年度補正予算（一般会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（8300万円増額）（第10号）

・がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援金（5500万円）等

2月臨時会のあらし

議案審議

2月臨時会を2月1日、1日の会期で開催した。
議案1件を可決とした。

討論

【反対討論】

（1人）

この農業政策だけは譲れないと思っっている。米農家に対する直接の支援、補助金の施策を市長が行わないことに大変腹を立てている。しかし、時勢柄、内容に反対することは差し控えるが、大きな憤りを持っている。

【賛成討論】

（1人）

▽市として困っている人たちのことを思い、できることからやっていきたい、準備のできているものからということ、この議案が出てきているんだと思う。さまざまな分野において準備が整い次第、きめ細かい支援策を打ち出すのだと思う。そういったところを期待して、この議案に賛成する。

問 農業振興費の非接触型機械の導入に対する支援金2250万円について、導入はどういうものなのか。
答 コロナ禍において感染を予防、あるいは農業生産の拡大に寄与できる非接触型の機械で、ラジコン操作で効率的にできる草刈り機や動噴、薬剤散布のドローンなどを導入した団体に補助金を支給するものである。
対象は、共同で利用する集落営農組織、日本型直接支払制度に取り組んでいる組織、地域の農業水利などの管理組合、農業法人などである。

問 農業振興費の市内農林業者への支援金3250万円の支援金対象者の多くは高齢者が対象になると考える。対象者に個別に丁寧な対応をするためにも、コールセンター等の対応が必要不可欠であると考えるが、どのように対応するのか。
答 早急に農家の方への周知、スムーズな対応が必要と考えている。3月をめどにコールセンターを設置し、問い合わせ等に対応を考えている。

問 防疫費の2200万円で感染予防の備品、抗原検査キットの配布とあるが、どのぐらいの数量をどういう方法で配布するのか。市民が希望すれば、無料で抗原検査キットが手に入るのか。
答 対象は症状がない方を基本的に感染が心配だという方で、配布方法は薬剤師から説明をした上で配布したい。数量は5000個程度と考えている。

令和4年2月第1回赤磐市議会臨時会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	
議 第 1 号	令和3年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

3月定例会のあらまし



次のとおり任命することに同意した。

教育委員会委員

大崎 陽二

(桜が丘西5丁目)

【任期】

令和4年5月20日、

令和8年5月19日

次のとおり適任とした。

人権擁護委員

古矢 道弘

(北佐古田)

【任期】

令和4年7月1日、

令和7年6月30日

議案審議

3月定例会を2月24日から3月23日まで28日間の会期で開催した。人事案件2件を同意・適任、議案32件を可決、修正案1件を否決、請願1件を採択とした。

また、議員発議の決議案1件、委員会発議の議案1件、意見書1件を可決とした。

赤磐市バス運行に関する条例の一部を改正する条例を可決

問 運行本数は変わるのか。
答 午前の便が1往復増える。
問 料金は変わるのか。
答 料金は変わらない。

赤磐市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例を可決

問 支援金の支給について、従前はどうかだったのか。
答 支援金の支給は行っていないかった。

赤磐市水道条例の一部を改正する条例を可決

問 毎月から2か月ごとに検針時期を変更する内容だと思いが、なぜか。
答 水道メーターの検針時期を毎月から2か月に一度に変更する。徴収は毎月案分にて行う。今後の人口減少などを見込み、水道事業を安定的に維持するために、歳出を削減する。

令和4年度補正予算（一般会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（1億5533万円増額）（第1号）

- ・保育士等処遇改善臨時特例事業補助金（2346万円）
- ・がんばろう赤磐コロナ対策観光・飲食店応援事業委託料（1500万円）等

問 保育士等の処遇改善策を具体的に。
答 収入の3%程度（月9000円）を引き上げる。
問 スタンプラリーの内容は。
答 観光施設や飲食店等を応援するスタンプラリーで、スタンプの獲得数に応じてプレゼントを行うもので、消費喚起につなげる。



デマンド型市民バス運行区域

討論

議第12号 赤磐市下水道条例の一部を改正する条例

議第14号 赤磐市水道条例の一部を改正する条例

議第31号 令和4年度赤磐市水道事業会計予算

議第32号 令和4年度赤磐市下水道事業会計予算

【反対討論】
（1人）
検針の収入で生活している検針員にとっては毎月の仕事が必要である。また、水道の漏水が発生した場合、速やかに市民に連絡できる。2カ月に一度の検針にすることで1200万円削減効果があるとの説明だが、市民の安心安全を優先すべきである。よって反対する。

議第23号 令和4年度赤磐市一般会計予算

【反対討論】
（2人）
▽医療費の高校生までの完全無料化、通学費補助、給食費の無料化などが反映されていない。また、自然豊かで安心して暮らすためには、松くい虫の空中散布予算は反対である。よって反対する。

▽防災士の養成講座、選挙啓発費、小学校に放課後学習支援をする予算等が適切でない。就農支援センター整備は事業が進んでいない。また、水害のリスクが高いエリアにある本庁舎耐震化の関連予算は、今回も含め3回の修正動議が提出されている。よって反対する。

【賛成討論】
（1人）
▽市民生活を第一とし、介護、福祉、医療、子育て支援、

学校教育といった市民生活、市民サービスの質を低下させない予算内容である。また、災害時に住民救済の拠点となる本庁舎の耐震化と、訪れる市民がより便利で使い勝手がよいと感じる改修計画になっている。よって賛成する。

議第24号 令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計予算

【反対討論】
（1人）
▽高い国保税が払えない世帯が増えている。国保税の引き下げに努力すべきである。よって反対する。

議第25号 令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算

【反対討論】
（1人）
▽令和4年10月から75歳以上の医療費窓口負担を2倍にしようとしている。よって反対する。

請願

請願第1号 重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書への請願

【採択】

発議

発議第2号 ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議案

【可決】

【要旨】

ロシアは国際社会の度重なる警告を無視し、ウク

ライナ領土内に軍を進めている。一方的に現状を變更しようとする軍事侵攻は国際法の重大な違反であり、断じて容認することができない。よって、赤磐市議会は、今回のロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明すると共に平和的解決を強く求める。また、保有する核兵器の使用を示唆するなどの威嚇行為を行っているが、唯一の戦争被爆国である日本の地方議会としては断じて許すことのできない行為であり、最も強い言葉をもってこの威嚇行為を非難する。

発議第3号 重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書

【可決】

【要旨】

国の障害者総合支援法に基づく支援は、障害の軽減を目的としているため、風邪、歯科治療等の直接起因していない治療には適用されていない。こうした国の制度を補うために自治体で助成制度等を行っている。本来国の制度として実施されるべきものである。障害者にとっては、自己負担があるため受診を抑制し、結果症状が重度化、重症化し費用を増大させている。障害者の命と健康を守るため次の事項を要望する。

- ① 重度心身障害者医療費助成制度を国の制度として創設すること
 - ② 自治体を実施する重度心身障害者医療費助成制度に対する国庫負担を減額する措置を廃止すること
 - ③ 国の制度化実現まで自治体を実施する重度心身障害者医療費助成制度に対し国の財政支援を行うこと
- 【意見書提出先】**
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣

発議第4号 赤磐市議会委員会条例の一部改正について

【可決】

予算常任委員会を新たに設置するもの。

動議

議第23号 令和4年度赤磐市一般会計予算修正

【否決】

【要旨】

コロナ、ウクライナ侵攻等、社会状況が大きく変化している。庁舎の耐震改修工事に関わる予算は、このままでは追加補正を繰り返すことになるため、事業計画を一度立ち止まって検討すべきである。

【質疑】

問 南海トラフ地震等が予測される中、自治体には安全対策が求められている。現在、関連して支所等の耐震化が進められている。また、財源確保の期限が迫っている中、何を検討するのか。

答 コロナ前の事業計画である。新築に比べて安いから耐震化にする前提が崩れている。検証する意義がある。

【反対討論】

▽原案は合併特例債を活用するなど、赤磐市の中・長期的な財政課題と直近の財政状況を考えている。よって反対する。

【賛成討論】

▽建設コスト急騰で、18億円で庁舎耐震化は出来ない。よって賛成する。

令和4年3月第2回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	
議第12号	赤磐市下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	赤磐市水道条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号(修正案)	令和4年度赤磐市一般会計予算についての修正案	否決	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号(原案)	令和4年度赤磐市一般会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	令和4年度赤磐市水道事業会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	令和4年度赤磐市下水道事業会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書への請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
同意第1号	赤磐市教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
発議第2号	ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議案	可決
議第2号	赤磐市個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議第3号	赤磐市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第4号	赤磐市バス運行に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第5号	赤磐市犯罪被害者等支援条例の一部を改正する条例	可決
議第6号	赤磐市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第7号	赤磐市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第8号	赤磐市職員の給与に関する条例及び赤磐市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第9号	赤磐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議第10号	赤磐市体育施設条例の一部を改正する条例	可決
議第11号	赤磐市小規模企業・中小企業振興条例	可決
議第13号	赤磐市営住宅条例の一部を改正する条例	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第15号	岡山市及び赤磐市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について	可決
議第16号	市道路線の認定について	可決
議第17号	令和3年度赤磐市一般会計補正予算(第11号)	可決
議第18号	令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議第19号	令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
議第20号	令和3年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議第21号	令和3年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議第22号	令和3年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算(第2号)	可決
議第26号	令和4年度赤磐市介護保険特別会計予算	可決
議第27号	令和4年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算	可決
議第28号	令和4年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算	可決
議第29号	令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算	可決
議第30号	令和4年度赤磐市財産区特別会計予算	可決
議第33号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算(第1号)	可決
発議第4号	赤磐市議会委員会条例の一部改正について	可決

総務 常任委員会

3月8日に総務常任委員会を行った。
議案7件について審査した。

条例の 一部改正

赤磐市バス運行に関する条例

問 時刻表の仁堀出張所周辺、佐伯北診療所周辺とある「周辺」の意味とは。
答 仁堀出張所周辺は6カ所で、佐伯北診療所周辺は3カ所で乗降できるということの表記である。

問 本数が増えて便利になると聞いたが、デメリットはないか。
答 周匝まで延伸するの

で、若干時間がかかる場合があるかと心配している。問題があれば対応する。

問 路線が延びるが、委託料は変わらないのか。
答 デマンドバスはタクシーより安く乗れるようにしているため、事業者に補助金を支給している。延伸しても補助金は従前通り支給することで事業者とは話をしている。

赤磐市犯罪被害者等支援条例

問 犯罪被害者等の定義、範囲は。どのように確認するのか。
答 被害者の配偶者（事実上の婚姻関係を含む）、子、父母、孫、祖父母および兄弟姉妹までを予定している。被害者から申請があった場合、警察に照会をして被害を確認の上、医師の診断書を添付してもらう。

問 事件が事故か分からない事象も考えられるが、結論が出るまで留保されるのか。
答 犯罪被害者への支援

制度は国にもあるが、支援金が出るまでに時間がかかる。それを補う被害者直後の支援制度であり、運用としては被害者でない人への支給を回避しつつ、ある程度特定した上で支給する。

問 精神的障害も対象になるとの説明であったが、PTSDは数年後に発症する場合がある。それにも対応できるのか。
答 申請期限を、犯罪被害の発生を知った日から2年、または発生から7年としている。

岡山市及び赤磐市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について

問 外国人コミュニケーション支援が入っていないが問題はないか。
答 個別事業には参加していないが、圏域マネジメント能力の強化では参加している。追加参加も可能であり、再度検討したい。

問 外国人と地域とのコミュニケーションや、一

般的な生活支援を行う方を登用するような予定はないか。
答 日常会話の日本語教室の開催や、コミュニケーションが活発になるような支援を考えている。

問 連携事業の中で、一番期待している事業は。
答 人口減少対策が一番重要な課題と捉えている。移住・定住施策は、単独の市町村では難しいので、圏域で連携して移住相談窓口を昨年度から設置している。広域的な連携を深め、圏域に人口

を誘導することを期待している。
問 岡山芸術創造劇場の活用は、岡山市民と同じ扱いになるのか。
答 利用金額等を含め、相互利用ができるかどうかは今後詰めていく。

問 連携取組の数によって費用負担は変わるのか。
答 費用が必要なもの、情報共有のみで費用が発生しないものもある。費用が発生するものについては、構成市町で負担していく。



岡山連携中枢都市圏構成市町

厚生文教 常任委員会

3月9日に厚生文教常任委員会を行った。
議案3件及び、請願1件について審査した。

条例の 一部改正

赤磐市国民健康保険条例

問 就学前の子どもの均等割を国が2分の1補助することだが対象者数は。また、金額的にどれくらいになるのか。
答 令和3年4月1日現在で対象者169人である。また、それに対する均等割の保険料は約31万4千円である。

問 今後、市が全額無料



仁堀地区の多目的広場

にするなり、対象年齢を引き上げることが検討しているのか。

答 そういった検討も将来的には必要になってくると思うが、進めていくには、財源が必要になる。財源が確保できるよう、市長会等を通じて国に対し働きかけていきたい。

赤磐市体育施設条例

問 テニスコート、多目的の広場等がなくなること

に対して、地域住民の了解を得られているのか。

答 地元からも、有効活用をお願いしたいということ、了承を得ている。また、現在グラウンドゴルフの2団体が施設を利用しているが、他の運動施設に代替ということでも了承を得ている。

問 今後の維持管理はどうなるのか。

答 普通財産として管財課が管理する予定である。

産業建設常任委員会

3月10日に産業建設常任委員会を行った。議案5件について審査した。

赤磐市小規模企業・中小企業振興条例の制定

問 中小企業関連団体はどういう団体を指すのか。

答 岡山県産業振興財団、中小企業診断士会などを想定している。

問 市長が特に認めるものがあるが、市長が拒否できるのか。

答 想定に当てはまらない団体であれば拒否することができる。

問 今後どう振興計画を策定し、取り組んでいくのか。

答 赤磐商工会や地元企業から意見聴取をし、パブリックコメントも実施する。

問 振興計画はどのくらいどの時期を想定しているのか。

答 意見聴取をし、素案を作成し、商工会と再度内容について練る。具体的には示せない。

赤磐市下水道条例の一部改正

問 なぜ今回検針を毎月から隔月にするのか。

答 今後の人口減少、節水意識の向上などで使用料の減少が見込まれる。水道事業の安定的継続のために歳出の削減に取り組む必要がある。

問 隔月では水漏れの発見が遅れるのではないのか。また今回の変更で離職した検針員がいるのか。退職金の制度はないのか。予算は幾ら軽減できるのか。

答 宅内の漏水発見については、今までより遅れるおそれはある。広報やこれから配るお知らせ等で、自ら水道のメーターを確認し漏水を少なくするよう伝える。検針員の離職には各人理由があるが、個々に話を聞いて対応した。退職金の制度はない。検針人委託料、消耗品費が半減するので、約1200万円程度の予算削減ができると考えている。

検針方法変更のお知らせ

令和4年4月から水道使用量の検針が2か月に1回に変わります。請求はこれまでどおり毎月請求です。これまで、水道の使用量を毎月検針していましたが、水道事業・下水道事業のコスト削減の一環として、令和4年4月から2か月に1回の隔月検針に変わります。水道管路や施設は、老朽化による維持・更新などの費用が、これまで以上に必要になると予想されています。削減を見越えた経費節減の取組ですので、ご理解ご協力をお願いします。

市道路線の認定について

問 市道認定の基準に基づいて認定しているのか。

答 赤磐市市道認定基準に基づいて認定している。今回の路線は3件が都市計画法による開発団地内道路の認定で、「赤磐市と開発業者との間に締結された、覚書に記された入居率を上回っていること」に該当する。1件は都市計画区域外であるが、「道路に2個以上の集落が公共施設等があること」に該当する。

問 将来的な計画・構想に基づいて、市道認定をすべきではないか。今回の場合はどうか。

答 3件については道路側溝や舗装等が完成しており、今後維持管理の経費が自分の間は発生しないと確認した上で引き受けた。今後もそうする。

令和3年度補正予算（一般会計・特別会計）2821万円の増額補正を可決

予算審査特別委員会

3月定例会のあらまし

委員会のうごき

いっぽん質問

その他協議会等

主な内容（歳出）

- 一般会計（1536万円増額）（第11号）
- 国民健康保険特別会計（383万円減額）（第4号）
- 後期高齢者医療特別会計（1022万円増額）（第3号）
- 介護保険特別会計（646万円増額）（第3号）

3月14日、15日、17日に
予算審査特別委員会を行った。
議案16件について審査した。

一般会計

特定目的基金に1億5352万円計上

問 ふるさと応援基金への積立金の算出方法は。

答 令和3年中の寄附金額から、必要経費を差し引いた金額を計上。

問 基金への積み立ては一括して積み立てるのか。

答 積み立ては一括して計上。寄附者が使途を指定している場合は、その要望に沿った形で当初予算で充当する。

屋外拡声設備バッテリー更新事業を429万円繰越し

バッテリーの輸入調達が遅れ、完成が翌年度になるため繰越し

問 防災行政無線屋外拡声設備のバッテリー更新の説明と完了の見通しは。

答 旧山陽町エリアの屋外拡声設備のバッテリーの定期的な更新作業。調達が遅れたが、5月の事業完了を見込んでいる。

住民情報システム運営管理事業を増額814万円

転入・転出手続きワンストップに係る委託料

問 転入・転出手続きワンストップ化の説明を。

答 転出手続きは、マイナ

番号、マイナ



あかいわももちゃんのマイナンバーカード

ポータルから自宅でマイナンバーカードを利用してできる。転入手続きは、庁舎の窓口を訪れてマイナンバーカードをかざす手続きが必要となる。

史跡保存整備事業を2021万円減額

問 保存整備工事の内容と、減額理由の説明を。

答 史跡両宮山古墳の墳丘裾保存整備工事である。両宮池の波浪による侵食で崩落が進み、平成29年度から実施してい

る。今回の減額は、国県の補助金の交付見込みによるもの。

塵芥処理施設維持管理事業検査委託料を291万円減額

問 ダイオキシソシン類等測定分析検査委託料が291万円減額になった理由は。また、検査実績は。

答 8者による指名競争入札で業者を決定し、その競争性により残額が出たため減額した。検査は、例年と変わらず良好で、異常な数値は一切出ていない。

地質調査委託料を7586万円増額

大規模盛土造成年代調査に係る委託料

問 大規模盛土が何カ所あるか説明があったのか。

答 81カ所あり、半数が桜が丘地域、次いで山陽団地だが、すぐに危険というものではない。危険と判定したら抑止杭の設置等を検討していくことになる。

農地費を6891万円減額

問 減額理由は。

答 日古木大池改修工事事業費が抑えられたため。企業誘致関連事業を853万円減額

企業誘致関連事業に係る奨励金
問 減額理由は。
答 市内在住の新規採用が、見込みより少なかったため。

国民健康保険特別会計

佐伯北診療所施設管理費を60万円増額

問 佐伯北・是里診療所勘定で光熱水費が60万円増額となっている理由は。

答 佐伯北診療所でMRIを導入し稼働させるため電源を増設したため。

令和4年度当初予算 368億5794万5000円を可決

会計名	令和4年度予算	令和3年度予算
一般会計	210億7,384万1,000円	193億7,684万6,000円
特別会計	111億4,916万9,000円	109億7,554万3,000円
国民健康保険	56億1,105万2,000円	57億4,502万2,000円
後期高齢者医療	7億207万1,000円	6億7,392万4,000円
介護保険	47億471万3,000円	44億924万1,000円
訪問看護ステーション事業	5,379万8,000円	5,371万1,000円
宅地等開発事業	4,384万7,000円	4,384万7,000円
竜天才トキャンプ場	1,833万7,000円	1,801万5,000円
財産区	1,535万1,000円	3,178万3,000円
公営企業会計	46億3,493万5,000円	46億2,970万3,000円
水道事業	14億9,773万9,000円	14億5,738万8,000円
下水道事業	31億3,719万6,000円	31億7,231万5,000円
合計	368億5,794万5,000円	349億8,209万2,000円

3月定例会のあらまし

委員会のうごき

いっしょに質問

その他協議会等

一般会計

FM管理事業に775万円計上

コミュニティFM中継局の維持管理費及び緊急告知ラジオの費用

問 緊急告知ラジオの費用79万円は何台分の計上か。今までの累計台数は。
答 令和4年度は50台を予定。現在292台を一般に貸し出している。

賦課徴収費のシステム修正委託料に1821万円計上

地方税の納付書に統一QRコードを付するためのシステム改修

問 QRコードを印字することの詳細説明を。
答 事務負担軽減、納税者の利便性向上のため、令和5年度から納付書に地方税統一QRコードを付す。対象税目は、当面固定資産税と軽自動車税。

夜間休日管理委託料に961万円計上

市役所の宿日直業務を民間委託するもの

問 職員の宿日直を民間委託することでメリット、デメリットはあるのか。
答 職員が宿直業務を行えば職場での勤務時間が約32時間となり、翌日の能力が落ちることもある。民間委託することで宿日直業務をする人が固定され丁寧な対応になると思う。宿日直業務者へは、休日・夜間の対応マニユアルを作り、緊急事態の連絡体制を作り教育する。

がらなかったため件数を下げた。新婚世帯家賃補助は件数を増やした。

防災費に2547万円計上

災害発生に対応するための資材整備、自主防災組織への活動支援補助などに係る経費

問 防災士の養成事業は何人分を見積もり、事業達成の目標は。
答 防災士養成講座の受講料は30人分を計上している。全地域である程度の防災士が確保できるまでと考えている。

社会福祉協議会補助事業に1億2399万円計上

社会福祉協議会及び山陽老人福祉センターの運営経費を補助する

問 社会福祉協議会補助金210万円のうち、地区社協に係る補助金は。
答 地区社協活動支援事業として、148万円を計上している。

問 令和3年度に比べて300万円近く減額した理由は。
答 結婚新生活支援事業が所得制限等で実績が上

が所得制限等で実績が上

緊急告知ラジオ



委員会のうごき

コミュニティ施設整備事業に406万円計上

問 地区集会所新築等工事補助金として6地区、363万円が計上されているが地区負担はあるのか。予算づけは地域からの要望か。

答 地区からの要望を前年度に受けて予算化している。修繕等、ものよるが2分の1補助、上限が150万円なので、地区負担もある。

環境衛生対策事業に2102万円計上

問 スズメバチ等巣駆除費補助金に25万円計上しているが詳細説明を。

答 スズメバチ等の巣を駆除する費用。委託で駆除した場合、費用の2分の1、上限5000円を補助する



スズメバチの巣

制度を創設した。

ゴミ処理施設整備事業に350万円計上

問 最終処分場の測量設計の委託料について詳細説明を。

答 基本構想の策定で、技術的な側面、安全性の検証が必要不可欠である。そういったところを専門業者に委託して詰めていく経費。

電算管理運営事業

児童生徒の情報活用能力の育成、校務の情報化等による教育の質向上のための経費

問 ICT支援員委託料2494万円について支援員の人数と、配置はどのようにするのか。

答 9人を業者が配置。小学校は月4回、中学校は月3回、その予算を計上。

事業計画作成委託料に300万円計上

大規模農業団地の計画策定等に係る委託料

問 コンサルへの委託料か。市が設立する法人組織とは。

答 計画策定、事業の取りまとめ、書類作成などの予算。新規就農希望者への優良な農地が不足している。法人組織の役割は、土地を就農者に渡すまで管理し、タイムリーに営農開始させることである。

農業次世代人材投資事業補助金に2250万円計上

問 次世代人材は何人か。細かい支援ができるのか。

答 対象年齢は49歳以下。年間150万円の補助で15人を予定している。栽培品目は果樹以外も可能だが、軌道に乗るまでは皆さん苦労している。

観光振興対策事業費に3037万円計上

問 地域活性化起業人員担金560万円の説明を。対象法人を選ぶ基準は。

答 地域おこし協力隊の企業版。観光誘客の手法、地域特産品の販路開拓などを企画してもらう。包括連携協定を結んでいる企業の中から選定する。

学校給食地場食材利用拡大事業に1527万円計上

学校給食等における地域農産物の利用を拡大し、地産地消を推進するための経費

問 利用拡大の現状は。また、予算が45万円減額の理由は。

答 県内産食品の使用率が53%。市内産の使用率は26・5%。経費が少なくても、食材を管理できる仕組みが構築できたので、予算を減額した。

施設維持管理工事費（城山公園茅葺修繕工事）に2000万円計上

問 何か特殊な事情があるのか。過疎債の対象か。

答 昭和61年度の建設から葺替えていない。円錐状なので工法が限られる。銅板もかやぶきも約3600万円かかるので、アスファルトシングル葺きで修繕する。また、過疎債の対象になる。



城山公園のかやぶき屋根

一般質問

市の考えを問う



16人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
金谷 文則 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の待遇問題や装備品の充実などについて 安心・安全な住み良い街作りについて 赤磐市のスポーツ振興について コロナ対策の対応について 	保田 守 16ページ	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染症について
安藤 利博 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ対応（全施設閉鎖）について 文化施設整備について 桜が丘中央の利用計画について 交通安全対策、交通マナー向上策について 	鼻岡 美保 17ページ	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の医療費無料 REアクション 吉井地区に工業用地と分譲宅地を
松田 勲 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの普及促進について 市内中学校の選択制について 	牛尾 直人 17ページ	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待について 赤磐市の未来
永徳 省二 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 県立高校誘致について 投票率向上について 福田地区の堤防かさ上げについて ペット同伴避難所について 	大口 浩志 18ページ	<ul style="list-style-type: none"> 各種収納・交付について 市民カードとマイナンバーカードの今後について ごみ行政について 赤磐市の資産（土地・建物）の利活用について
佐々木 雄司 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 財源強化の取り組みについて テレワークの推進とサテライトオフィス誘致について 庁内業務のICT化について 	原田 素代 18ページ	<ul style="list-style-type: none"> 市長と桃茂実苑の関係 2月1日の臨時議会での市長の答弁 現在の保育士の現状
大森 進次 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 救急体制の充実を 	下山 哲司 19ページ	<ul style="list-style-type: none"> 米作農業者の支援について 給食センター運営内容について聞く 医療費について聞く
治徳 義明 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度について 児童虐待防止対策について コロナ対策について 防災減災対策について 	佐藤 武文 19ページ	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の改修はもう少し議論を尽くし計画性のある選択をすべきではないか 赤磐市に斎場は必要ではないか ため池管理の軽減を検討すべきでは 地産地消を生かす工夫をどの様に行っているのか
福木 京子 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の通学費補助の拡充を 学校給食費の減免・無料化問題について 山陽団地の中心部にお店などの交流施設を コロナ禍での休校助成の周知や改善を 	<p>表紙の一言</p> <p>4月8日春爛漫、暖かい日差しと温かい眼差しに囲まれて、仁美小学校に1年生2人が入学しました。1年生は1、2年生複式学級で学びます。2年生3人も優しいお姉さんとして張り切っているそうです。</p>	
佐藤 武 16ページ	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール情報端末利用とオンライン授業の取り組みについて 大規模災害時におけるごみ処理の対応策等について 		

問 住み良い街になっているか

答 つながりやにぎわい等 安心を念頭に進めている

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



金谷文則議員

子どもが病気になる、残して勤めに行けない親のために、赤磐市独自で「病児保育施設」を作っています。どうか。

コロナ禍3年になり、個人情報上の制約もあるが、地域で助け合い、コロナを克服していく必要があるのではないか。また、小学校に子供を通わせている親が、コロナで職場を休んだ場合の補助金制度があるのではないか。

問 安心・安全な住み良い赤磐市になっているか。どこが有利で、他の地域と違ってアピールできるものがあるのか。

赤磐市がどこにあるかわからない。ベッドタウン化している赤磐市には山陽インターがある。高速道路を通行して分かるように看板を付けたり、通勤用に高速道路を使ってもらえるよう、通学補助のようにわずかでも高速道路補助を出してはどうか。

国や県に働きかける。「病児保育」については、小児科の開業医に働きかけるが費用や人員がかかるので、なかなか前に進まないが粘り強く働きかける。

コロナ陽性者の対応については、県と連携し保健所が手の回らないところを補完するよう協力している。職場を休んだ場合の補助金が、産業振興部所管である。

消防団員の処遇改善は、報酬の見直しや装備の充実等、団幹部と協議をしており、国が示す基準に沿って報酬や出勤報酬を積極的に考える。

消防団員のなり手不足の対応として処遇改善が必要だと思うが、どのような形で解決しようとしているか。

赤磐市が知られていないのは残念だ。市の特産品を強くアピールし、移住・定住の促進を図る。有望企業を誘致する。看板を掲げるだけでは人が来ない。高速道路補助は

【令和4年2月16日作成】



新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金 (委託を受けて個人で仕事をする方向け) について

小学校等の臨時休業等にに伴い、子どもの世帯を行うために、契約した仕事ができなくなった個人で仕事をする保護者へ支援金を支給します!

支援の内容	令和3年8月1日から令和4年3月31日までの間において、仕事ができなかった日について、1日当たり以下の金額を支給	申請期間
仕事ができなくなった期間	金額 (1日当たり定額) *	申請期間
令和3年8月1日～10月31日	6,750円	令和3年12月27日(月) 必着
令和3年11月1日～12月31日	6,750円	令和4年2月28日(月) 必着
令和4年1月1日～2月31日	令和4年1～2月: 5,500円 令和4年3月: 4,500円	令和4年5月31日(木) 必着

*申請の時期によって申請額が異なる場合があります。詳しくは、お住まいの市町村の福祉課(児童課)にお問い合わせください。

厚生労働省チラシ

問 全施設閉鎖はどのような根拠で決めたのか

答 命を守ることを最優先とすべきと考え閉鎖した

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



安藤利博議員

文化施設整備について

音楽ホールを持たない市町は赤磐市と1町だけ。赤磐市も文化施設を整備すべきでは。

文化活動の拠点となる施設は重要であると認識している。建設費や維持管理費が過度な負担とならないよう慎重に検討する必要がある。

地域振興基金、公共施設整備基金などたくさんある。この中で文化施設建設に使える基金はないのか。

市には15の基金がある。条例で定められた用途に合致すれば、使うことはできる。

桜が丘中央の現市有地を有効活用するため



他自治体の文化ホール

に、総合文化センターを建設すべきではないか。現在には駐車場、イベント用スペースとして使われている。将来的には桜が丘中央の一体的な利用も視野に考えている。

登下校の旗当番、ポランティアの見守り方法が統一されていない。情報共有し、指導上の注意点についても話して、統一的な指導に心がけていきたい。

問 マイナンバーカードの普及促進を

答 利便性向上に努めていく

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



松田 勲議員

答 令和3年4月より毎月1回、日曜日に休日交付窓口を開設している。今後普及に向けてのPRを継続するとともに、手続きの利便性向上に向けて市民目線に立ち、市としてできることは何かということを検討し、普及促進に努めていく。

市内中学校の学校選択制について

問 合併2年後の平成19年度から、学校選択制が始まった。現在、市内各中学校で学区外を選択している生徒はどのくらいいるのか。

隣接の中学校へどうしても行きたいのに選択制の条件に当てはまらず、希望の中学校へ行けない子供たちがいる。特に桜が丘西地域の子供たちである。隣接の学区の選択

枠を設けるなど前向きに進めていくべきではないか。例えば、桜が丘中学校を一つの学区に編成し、そこから隣接の磐梨中学校に何人まで受け入れますという枠を設けてはどうか。

答 学区外を選択されている生徒は、高陽中学校区1人、桜が丘中学校区1人、赤坂中学校区7人、磐梨中学校区159人、吉井中学校区0人である。学校教育として進むべき方向性を考え直す必要が来るかもしれない。提案の趣旨も踏まえて考えていく。



マイナンバーカードでコンビニ交付

問 県立高校誘致のアンケートを実施しないか

答 市が主体で実施する考えはない

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



永徳省二議員

県立高校誘致について

答 市長会で赤磐市の要望として提出した。県教育委員会・学校教育推進監と高校魅力化推進室長が来庁した際に、赤磐市への高校誘致について話題にした。地元高校の繁栄を継続的に実施していくことが重要と考える。

問 岡山県下15市あり、市内に県立高校がないのは赤磐市だけ。中国地方は5県あるが、市内に県立高校がない市は赤磐市以外にはない。四国地方は4県あるが、全ての市を見て県立高校のない市はない。関西地方は2府4県あり、市内に県立高校がない市は一切ない。中国地方でも四国でも関西を見て市内に県立高校がないのは赤磐市だ

問 私には、夢がある。赤磐高校の野球部が甲子園を目指す。赤磐高校のサッカー部が国立競技場を目指す。赤磐高校のホッケー部、剣道部、柔道部、ブラスバンド部が全国大会を目指す。そうしたら赤磐市民が一体になって応援ができる。市長公約実現のため、今までも何を実施してきたのか。実施してきた成果は。



犬と猫

け。98・8%の中学生が高校に進み、もう義務教育だ。市内にて公立の高等教育を受けることができないのは、赤磐市だけ。何とかならないか。

答 今、少子高齢化が進んでいる中で新設の高校をというのは非常に無理がある。

ペット同伴避難所について

問 災害が起きたときに、ペット同伴の避難所開設についての説明を。

答 他の避難者の気にならない所に、飼い主とは別のスペースにてゲージ等に入れた状態で、持参したペットフード等で飼育してもらう。

問

ICT導入推進に関する基本計画や条例の策定は

答

DX推進本部設置要綱を制定し、来年度から運用していく

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



佐々木雄司議員

問 新型コロナウイルス対策としてオンライン授業の必要性が高まっている。現在、導入については各校の取り組みに任せている状態だが、なお一層の普及を進めていくためには、教育委員会でICT活用基本計画や遠隔授業の実施要領などの策定に動く必要があるのではないかと。先ほど提示を受けた基本計画に準ずるような形で、ICT活用段階表に沿って進めているところである。

問 自宅待機などで授業に出ることができない児童生徒について、どのように考えているのか。

答 オンライン授業は、コロナ感染防止等で長期間登校できない状況が生じる場合に緊急措置としての対応と定めている。子供の発達段階や各学校、家庭、地域の状況に加え、教育的な効果を十分に検討しつつ、教員の研修も含めてオンライン授業の環境整備と授業準備を進めている。

問 デジタル教科書の導入検討具合はどうか。

答 デジタル教科書の導入については、2022年に国が無償で実証実験を行う予定があり、赤磐市も参加する方向で現在準備を進めている。

ふるさと納税の寄附増額取り組みについて

問 寄附額増加につなげる取り組みとして、電天文台と隣接するオートキャンプ場の両施設を利用し、宿泊をしながら夜間に宇宙、星空の説明を受けるといった自然と宇宙を体験する返礼品などは検討に当たらないか。

答 アフターコロナを見据え、モノ消費からコト消費へとという流れが再び生まれている。寄附額増加につながるであろう体験型返礼品開発は、より一層目を向けてやるべきだと認識をしている。



赤磐市電天文台公園

問

コロナ禍における救急体制の現状と対応は

答

医療、治療体制等を注視し体制の充実を図る

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



大森進次議員

問 コロナ感染者、感染が疑われる人の救急搬送の現状は。

答 令和4年1月に入ってから新型コロナウイルス感染症が疑われる救急事案は10件発生し、合計で24件の救急搬送を行っている。令和3年の実績では救急件数が1788件に對して、348件の複送事案が発生していて、一日に約5件救急が発生している状況になる。

問 コロナ感染者、感染が疑われる人の救急隊の

問 コロナ対応は。

答 全ての救急活動において上下感染防護服とマスク、ゴーグル等を標準装備として、感染防止には万全を図っている。

問 今後、高齢化が進み、救急業務の需要は質、量ともに増大し職員の負担も増大すると思う。車両機材はお金を出せば準備できるが、救命士の育成は訓練をする時間が必要で職員はすぐに確保できない。計画的に将来を見据えた職員の確保が必要と思うが見解は。

答 今は不測の事態に對して、毎日勤務者や非番招集等で救急隊員の充足を図り対応している。

職員の確保は全体の動向を注視し、緊急事態の折に即時対応できる組織作り、組織改革を含めた消防力の強化が必要とな



赤磐市消防本部

れば、市長部局と調整等を行い職員の増強等も検討したい。

問 他の自治体ではコロナ対応に万全を期すよう、救急隊を一部増員したと聞いたが、救急隊1隊3人の補充は考えられないか。市長の考えは。

答 1隊増設となると救急隊員は2交代なので、6人の消防職員が必要で財政的な課題がある。隊を増設することなく全体の救急体制を補強する方法もあるかと思うので、さまざまな方法を研究しながら市民の安全・安心に努めるよう日夜考えたい。

成年後見の中核機関の設置は

令和4年度に設置して 利用促進の体制づくりを進める

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



議員 明義徳治

見人の養成のさらなる強化を図る。

問 痛ましい児童虐待事件が相次ぎまた、コロナ禍で、児童虐待の潜在化や深刻化のリスクが高まっている。児童虐待の根絶に向けて、さらなる対策の強化や発生防止に全力で取り組む必要があるのでは。また、市独自の児童虐待防止条例を策定して予算や体制強化の後押しが必要と考えるが。

答 「子ども家庭総合拠点」を設置して、虐待の発生予防、早期発見、迅速な対応、虐待を受けた子どもの自立支援に至るまで切れ目のない支援体制を構築する。条例は、関係者と協議・研究する。

問 防災・減災対策は最重要課題である。①ため池のハザードマップの取り組み状況は。②斎富地

答 令和4年度に中核機関を設置し、成年後見の利用促進の体制づくりを進めるとともに、市民後

区で水害から守る流域治水対策の一つとして「田んぼダム」の取り組みを行っているが、広範囲で行うためには、生産者の理解や不安を解消する努力とともに補償や整備費、保守点検等の負担軽減の独自の支援策、制度化が必要では。③砂川の安全対策のためには、浚渫が重要では。

高校生の通学費補助の拡充を

より効果の高い制度へと 研究に着手している

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



議員 京子福木

問 学校給食費の無料化が広がり、備前市はこの4月から実施する。これまで段階的に第2子から赤磐市でも無料化にと提案してきた。コロナ禍での子育て支援策として、給食費の減免や無料化に進むべきだ。また、就学援助制度から外れた家庭にも支援すべきだ。

答 財政確保が困難であるので、慎重に判断せざるを得ない。当面は就学援助制度で対応する。この制度の一層の周知を図っていく。

問 コロナ禍で、高校生を持つている家庭は毎月の通学費が負担である。赤坂地域も過疎地域になり国の補助対象になった。財源が有利になり、山陽地域にも拡充すべきだ。

答 保護者ニーズや通学状況等実態を把握しながら、財源も見据えてより効果の高い制度へと既に研究に着手している。

問 元ショッピング跡地の解体工事が始まっている。時期を逃すことなく市が積極的に動き、山陽



学校給食の様子

3月定例会のあいまし

委員会のいっぴん

いっぴん質問

その他協議会等

問 大規模災害時における ごみ処理対策は

答 災害廃棄物処理計画を 実践的に活用する

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



佐藤 武議員

3月に策定している。災害廃棄物の種類、予測量に基づき、初動対応、仮置き場の運営、関係機関との連携、支援体制等に
取り組んでいる。

他自治体との連携協定については、県及び県内市町村と締結している。

GIGAスクール情報 端末の整備とオンライン授業について

問 授業改革に向けた情報端末（タブレット）の配備状況と、その学習効果は。

登校できない子供たちへのオンライン授業の取り組み等を推進すべきではないか。

答 令和3年4月から全小・中学校で1人1台のタブレット端末が配備され、活用段階表に沿って活用されている。職員研

問 異常気象に伴う大雨による浸水災害、さらには大地震等による想定外の大災害が全国各地で起こり、その際に発生する大量の災害ごみを速やかに処理することが課題となっている。

答 災害廃棄物の迅速・円滑な処理と復旧・復興を進めるため、南海トラフ地震を予測した災害廃棄物処理計画を令和2年

修や各校のICT活用実践事例を共有し、授業公開も行っている。
ICT活用の基本は学校の授業だが、コロナ感染等で長期登校できない緊急措置の一つとしてオンライン授業に向けた整備も進めている。今後さまざまな取り組みの中で学習効果を検証していく。不登校児童・生徒に対するタブレット活用については、どのような授業形態が負担なく効果的に見えるか、本人の思いを十分配慮しながら活用を進めていく。



平成30年7月豪雨時の災害ごみ

問 コロナ感染症の 治療費等の告知を

答 情報提供の在り方を見直したい

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。



保田 守議員

て、何がしかの費用が発生すると思っていたが、退院時お金はいらなかった。退院してから分かった事だが、コロナに関しては入院であれ、自宅療養であれ、民間の生命保険や共済は補償対象になる。自宅療養していても、容態が急変したら入院しなければ命に関わる。

問 コロナに感染して自宅療養をしていたが、容態が急変して岡山市内の病院へ緊急入院した。レムデシビルという薬を点滴で3日間投与してもらった。熱も下がり体調も回復した。一週間の入院になった。指定感染症だから治療費はかからないということは大体理解はしていた。しかし、緊急で入って集中治療ができる一人部屋に一週間お世話になって、食事も3食きちんと運んでもらっ

問 コロナに感染して自宅療養していること、高齢者には具体的に知らない人が多いと思う。コロナのことを分かりやすくまとめた、Q&Aのような冊子を作ったらどうか。
答 今の保田議員の話と同じ、情報提供のあり方について、もう一遍見直さないといけないという思いになった。

問 まん延防止対策として、赤磐市は公共施設の運用についてテニスコートなど一律に使用中止にしているが、現在使用中にしている野外施設などの解除する基準は。
答 解除する場合は、まん延防止等の対象地域でなくなる事や、市内感染者が10人を下回る日が連続する事が目安となると考えている。



高規格救急車

問 吉井地区に工業団地を

答 仁堀に工業用地を確保する

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



鼻岡美保議員

健全化の体制を整えることが先である。

問 広報あかいわ12月号に掲載されたREACtionとは。

答 使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示す新たな枠組み。理念を掲げるもの。幅広く情報交換や交流が可能になる。ふれあい体育館へのエアコンとともに太陽光発電を導入し、成功している。

問 公用車のうちEV車は何台か。天ぷら油燃料使用の公用車はあるのか。

答 EV車の設置台数は3台である。天ぷら油燃料使用の自動車はないが焼却場の助燃材料として使用している。

問 赤磐市と総社市の人口推移の比較は。吉井地区に工業団地を確保して人口増加を図る計画は。

答 令和2年の国勢調査によると、本市の人口は4万2661人。合併時からマイナス1252人。総社市は合併時からプラス2446人。令和3年の人口移動報告によると、本市はプラス78人、総社市はプラス461人で、岡山県下有数の転入超過となっている。優良企業を誘致し地域に安定で良質な雇用の場の創出は、地域活性化の有効な手法である。仁堀工業団地周辺の市有地を、誘致用地として活用する。工業団地には大きな財政支出が必要だが、適地の調査は行っている。



仁堀工業団地

問 児童虐待の実態は。新たな取り組みはあるのか

答 通報は50件前後、支援拠点を設置する

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



牛尾直人議員

問 発生した場合、担当者だけで抱え込まず、町内会など地域の大人の力も必要では。

答 可能な限り情報を共有し、地域とも連携し対応を強化していく。

問 赤磐市の未来は。市長は残り3年間どのように進めていくのか。

答 第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略で定める3つの重点戦略に沿った施策を充実させるべく事業を推進する。

問 5年10年先ではなく来年度何をするのか。

答 強い農業、生産団地を造り圃場整備し新規就農者を呼び込む。桜が丘中学校をモデルに未来が見える学校プロジェクトを進めていく。

問 希望がある赤磐市に進んでいるのか。新拠点整備、企業誘

致など着実に進んでいるが公表の段階ではない。
問 もっと小さな事、家の前に街灯がついた。通学路にガードパイプがついた。散歩で通る公園に休憩できるベンチができた。子供が安心して遊べる場所ができた。日々の生活が変わって住みやすくなっている。やがて住んでいてよかったですと思おうが。
答 市民生活に寄り添った施策が大切。市民1人1人の顔が見える行政を行っていく。ただ、大きく取り上げることなく今後も地道に施策を推進する。



通学路に設置したボラード

3月定例会のあいまし

委員会のいっしょ

いっぽん質問

その他協議会等

問 米作農業者の支援について市の考えを聞く

答 新型コロナ禍での農林業者の支援をする

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



下山哲司議員

赤磐市の大きな特徴である。制度設計の際には議論をした。確定申告をしている人には、難しい手続きではない。申告をした書類を使えば簡単にできる。難しいと思う人には、市に相談してもらえば支援する。

問 今後、他の給食センターも業務委託するのか、それとも1件でやるのか考えを聞く。

答 直営で運営しているセンターは、委託と直営の比較検討をもう少し時間をかけ検証しながら方向性を出していきたい。子供が食べるものなので安全でおいしいという品質がきちんと確保できるか、コストはどうかという視点で検討していく。

農林業者への支援は十分か

問 農業者が自分で補助金をもらうような段取りをするのはたけてないと思うが市はどう考えるか。

答 支援内容は、米の下落分の保障補充は農業支援の頑張ろう赤磐コロナ対策農林業者支援金で他市と同等の補填が可能と思う。また、他市町では対象とならない作物についても本市では対象になっているということも

給食センターの運営は安全安心か



中央学校給食センター

問 給食センターの運営内容について、民間委託して2年がたつと思うが現状と今後についてどうか。

答 献立作成及び食材調達直営で実施し、調理、配送等の部分を委託業務で実施するという運営方法を採っており大きな問題もなく順調に運営している。昨年8月のコロナ臨時休業による授業時数確保のための急な給食実

問 庁舎の改修は議論が尽くされていない

答 最適な財源を見つけることができなかった

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



佐藤武文議員

問 工事期間中の分散業務は市民に混乱と迷惑を掛けるのでは。

答 迷惑の期間を短くしたいと思っている。

本庁舎の耐震改修は



赤磐市役所本庁舎

問 庁舎の改修は、議論が尽くされていない。庁舎を分散することは、利便性に欠け後世に最悪の結果を残すことにつながる。

答 しっかり研究をしたが、最適な財源を見つめることができなかった。

ため池管理の軽減を

問 離農化・高齢化に伴い、のり面の草刈り作業などため池の管理が危険で、地区において負担の軽減が求められている。

議会全員協議会

2月17日

主な協議・報告事項

- 令和4年3月第2回赤磐市議会定例会について
- 予算審査特別委員会について
- 田原用水組合議会議員選挙について
- 赤磐市議会委員会条例の一部改正について

3月4日

主な協議・報告事項

- ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議案について
- ウクライナへの義援金について

6月議会の お知らせ

- 6月3日(金) 議案上程
- 6月7日(火) 一般質問
- 6月8日(水) 一般質問
- 6月9日(木) 一般質問
- 6月13日(月) 質疑・委員会付託
- 6月15日(水) 厚生文教常任委員会
- 6月16日(木) 産業建設常任委員会
- 6月17日(金) 総務常任委員会
- 6月21日(火) 予算審査特別委員会
- 6月22日(水) 予算審査特別委員会
- 6月29日(水) 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)

※この日程は予定です。日程は、5月27日開催の議会運営委員会で決定します。

総務常任委員会 視察研修

総務常任委員会は1月20日に3カ所、3月8日に1カ所の視察を行った。

1月20日

① 消防本部内通信指令室・機械室
高機能消防指令センターシステムの入れ替え状況を視察。

② 赤坂支所内修繕工事箇所

本庁舎改修工事に伴う工事中移転先として使用予定の赤坂支所を視察。

③ 熊山支所内修繕工事箇所

同じく熊山支所を視察。

3月8日

旧消防本部庁舎

本庁舎改修工事に伴う移転先としての工事進捗状況を視察。本庁舎改修工事後も継続利用。



旧消防本部庁舎の視察状況

編集後記

赤磐市議会は、3月議会定例会でロシアによるウクライナ侵攻を非難し、平和的解決を求める議員発議を全会一致で可決しました。また、在日ウクライナ大使館に義援金20万円を贈りました。

ロシアによるウクライナ侵攻、それに対する経済制裁。その影響は、石油、天然ガス、希少金属、小麦などからパン、ガソリン代金の高騰に及び、ひいては北方領土問題へも関係してくるでしょう。

この議会だよりが発行される6月ごろに世の中はどのようなものなのでしょうか。コロナ禍も含め、平和な世界になっていくことを望むばかりです。

広報広聴委員(広報部会)

- 部長 光成 良充
- 副部長 鼻岡 美保
- 委員 治徳 義明
- 委員 大口 浩志
- 委員 永徳 省二
- 委員 安藤 利博